

# 農業農村整備事業の広報

本県における農業農村整備事業の実施状況や農業・農村が有する多面的機能の発揮等について、広く県民の理解と協力を得るために、以下の広報活動を積極的に実施しています。

## 1 高校生を対象とした現場見学会

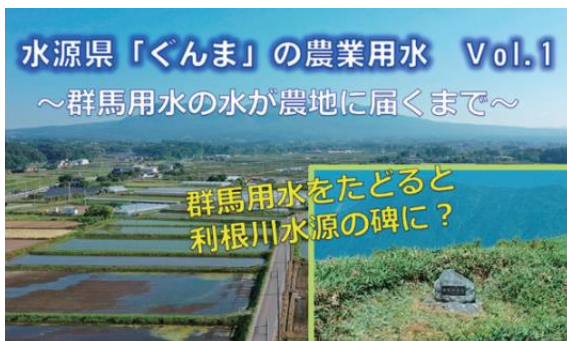
- 県内の農業土木を学ぶ高校生に向けて、現場説明会を開催しています。実際の工事現場に触れてもらうことで、地域の暮らしを支える農業農村整備の重要性や役割を身近に感じてもらうとともに、地域の未来を担う人材育成につながるよう取り組んでいます。



## 2 農業農村整備事業の紹介動画の作成

- 『ぐんま』の農業用水や農業農村整備事業の効果をわかりやすく紹介する動画を作成しています。完成した動画は、群馬県の動画情報発信サイト「tsulunos」にて公開しています。

tsulunos ▶



## 3 どんっ子新聞の発行

- 農業農村整備事業の役割を紹介する壁新聞「どんっ子新聞」を毎年度作成し、県内の小学校や児童館などに配布しています。児童にとって分かりやすい言葉や、楽しみながら読める漫画形式により紹介することで、農業農村整備事業の役割に興味を持ってもらうことを目的としています。

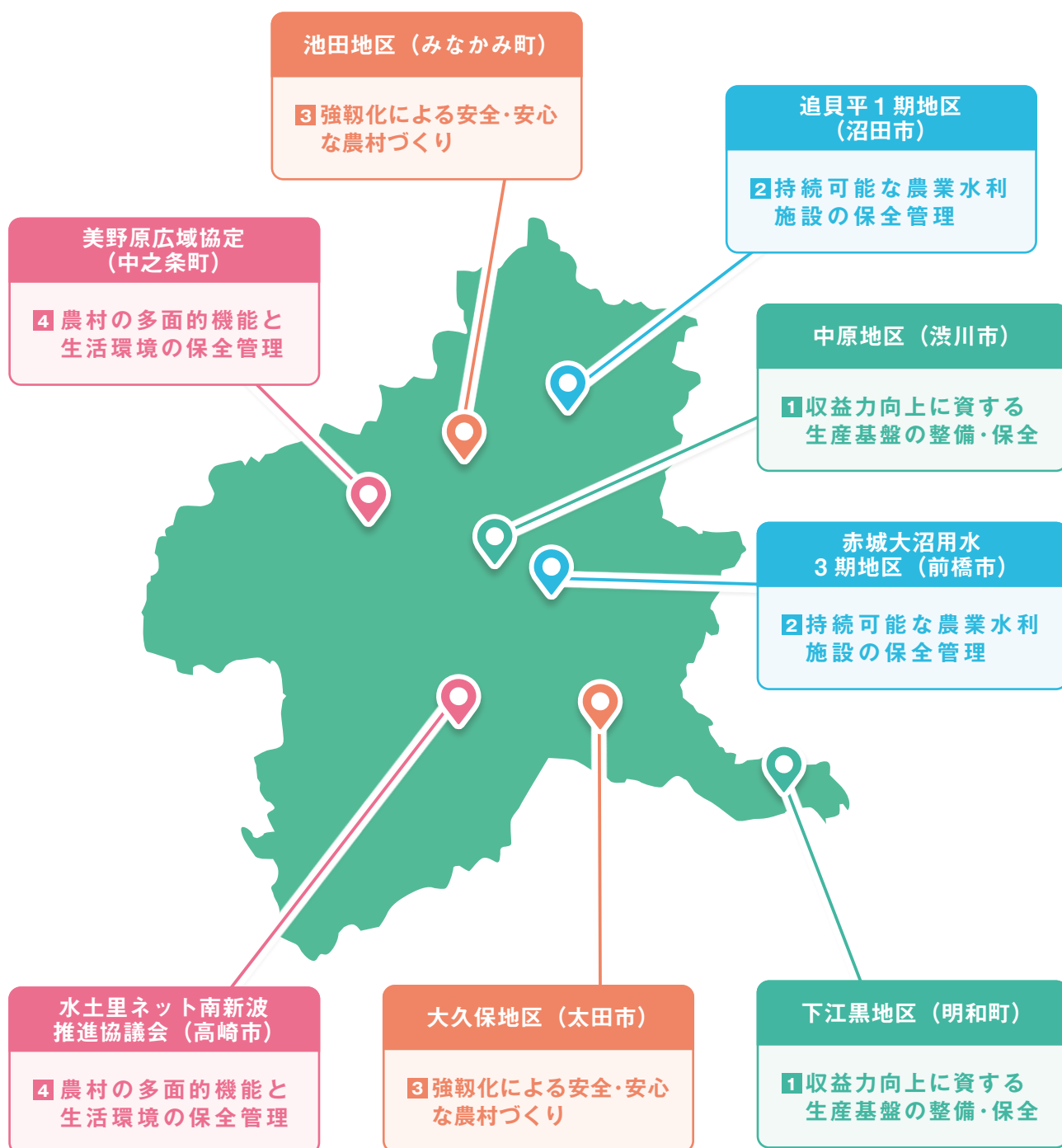
どんっ子新聞 ▶



# 農業農村整備事業の事例と効果

農業農村整備は、農地や農業水利施設等の生産基盤を保全・整備し、農業の生産性の向上を図るとともに、農村における安全・安心な生活環境の整備を行っています。また、農村の地域コミュニティを基盤とした共同活動により、農業・農村の有する多面的機能が維持・発揮されています。

ここでは、本県における農業農村整備事業の事例と効果の一部を紹介します。



# 1 収益力向上に資する生産基盤の整備・保全

## 下江黒地区（明和町）

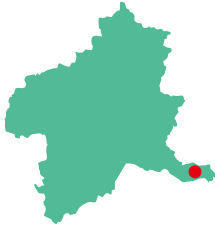
### 取組・効果のポイント

- 大区画化、水田からの畑地転換及び企業参入などによる高収益作物の導入と収益性の向上
- 全農地において、農地中間管理機構の活用により、効率的な集積・集約を促進

- 農地の区画拡大や水田の畑地転換などを進め、高収益作物の導入及びキャベツ収穫機やドローン防除による作業の省力化などにより、収益性向上を実現しました。
- 地区内全農地に農地中間管理権を設定し、新たに参入した企業等を担い手として位置付けて高収益作物の導入を進めた結果、農地集積率100%を達成しました。

### 概要

- 位置図



- 受益面積

24.2ha

- 工期

R元～R5

- 活用事業

農地中間管理機構関連  
農地整備事業

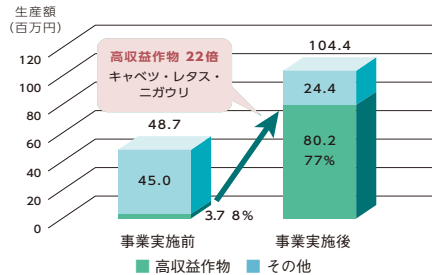


事業実施前（狭小な農地）



事業実施後（企業参入によるハウス団地）

### 高収益作物の導入による生産額向上の推移



キャベツ収穫機での収穫状況



防除用ドローン

### 担い手への農地集積の推移

担い手への集積面積 1.1ha ⇒ 24.2ha  
担い手への集積率 4.5% ⇒ 100%

## 中原地区（渋川市）

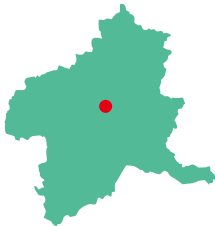
### 取組・効果のポイント

- 畑地かんがい施設や獣害防止対策を含む生産基盤整備を一体的に実施
- 作業効率の改善、高収益作物への作付転換などが図られ、農業経営の安定化に寄与

- 畑地かんがい施設を新設するとともに、区画整理、農作業道、排水路及び獣害防止対策などの生産基盤整備を一体的に行うことにより、農業生産性及び担い手への農地集積率が向上しました。
- 畑地かんがい施設の整備により、こんにゃくいも栽培からキャベツ・レタスなどの収益性の高い葉物野菜への作付転換が進み、農業経営の安定化に寄与しました。

### 概要

- 位置図



- 受益面積

50.2ha

- 工期

H27～R3

- 活用事業

水利施設等保全高度化事業  
(畑地帯総合整備中山間地域型担い手育成対策)

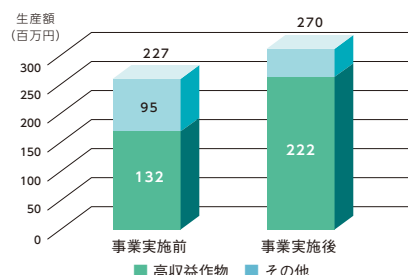


事業実施前（不整形な農地）



事業実施後

### 高収益作物の導入による生産額向上の推移



畑地かんがい散水状況



獣害防止柵及び獣害対策グレーチング

### 担い手への農地集積の推移

担い手への集積面積 6.8ha ⇒ 18.6ha  
担い手への集積率 12.4% ⇒ 37.0%

## 2 持続可能な農業水利施設の保全管理

### 赤城大沼用水 3 期地区（前橋市）

#### 取組・効果のポイント

- 石積水路の長寿命化対策による農業用水の安定供給の確保
- 既存石積水路の石を再利用することによるコスト縮減

- 施設造成後70年以上が経過しており、石積水路等において経年劣化による漏水や欠損等の老朽化が確認されていたため、保全対策工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。
- 石積水路を補修する一部区間においては、既存水路の石を再利用することで、コスト縮減を図りました。

#### 概要

##### ● 位置図



● 受益面積  
346.0ha

● 工期  
R元～R3

● 活用事業  
農業水路等長寿命化・  
防災減災事業



事業実施前（石積水路）



事業実施後（石積水路）



事業実施前（石積水路）



事業実施後（管渠）

### 追貝平 1 期地区（沼田市）

#### 取組・効果のポイント

- 水路、調整池の長寿命化対策による農業用水の安定供給の確保
- 水路を管理する土地改良区の維持管理負担の軽減

- 造成から約50年以上が経過し、水路（開水路、隧道）や調整池の老朽化が進行していたことから、施設の水利機能低下を防ぐため、保全対策工事を実施し、長寿命化を図りました。
- 保全対策工事により、管理を行う土地改良区の日常的な維持管理労力と補修費用等の負担軽減が図られました。

#### 概要

##### ● 位置図



● 受益面積  
239.0ha

● 工期  
R4～R6

● 活用事業  
農業水路等長寿命化・  
防災減災事業



事業実施前（開水路）



事業実施後（開水路）



事業実施前（隧道）



事業実施後（隧道）

### 3 強靱化による安全・安心な農村づくり

#### 池田地区（みなかみ町）

##### 取組・効果のポイント

- 堤体の耐震補強による地域の安全性の確保
- 地震時の決壊防止及び下流域への被害を未然に防止

- ため池堤体からの漏水が確認され、必要な耐震性も有しておらず、さらにため池下流部には集落が存在し、大規模地震時で決壊した場合は、約50haの農地や人命等への被害が想定されたことから、ため池の耐震補強を実施し、地域の安全性を確保しました。

##### 概要

- 位置図



- 受益面積（防災受益面積）  
17.5ha（50.8ha）
- 工期  
H28～R3
- 活用事業  
農村地域防災減災事業

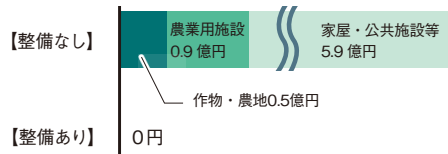


事業実施前（池田ため池内）



事業実施後（池田ため池内）

##### 整備の有無における被害想定額



想定被害（被害額 7.3 億円）を未然に防止



事業実施後（池田ため池）

#### 大久保地区（太田市）

##### 取組・効果のポイント

- 農地等の湛水被害への対応のため、排水対策を実施し、排水機能を向上
- 排水対策の実施により、安心して暮らせる農村地域の形成へ寄与

- 近年のゲリラ豪雨などによる農地や住宅地への湛水被害に対応するため、調整池や排水路を整備し、排水機能の向上を図りました。
- 湛水被害により農業生産力の低下や生活環境の悪化を来していましたが、排水対策の実施により、安心して暮らせる農村地域の形成などにつながりました。

##### 概要

- 位置図



- 受益面積  
125.0ha
- 工期  
H28～R4
- 活用事業  
農山漁村地域整備交付金  
（農村集落基盤再編・整備）



事業実施前（湛水した農地）



事業実施後（排水路整備）



事業実施前  
（個人で行った排水対策（簡易調整池））



事業実施後（調整池整備）

## 4 農村の多面的機能と生活環境の保全管理

### 水土里ネット南新波推進協議会（高崎市）

#### 取組・効果のポイント

- 高齢化により困難になりつつある地域資源管理の負担軽減
- 地域住民の環境保全に対する意識の向上
- 子どもたちを含めた地域住民の繋がりの強化

- 地域の共同作業という考えが定着し、集落全体としてまとまりができ、他の集落活動に対しても積極的な参加が見られるようになりました。
- 地元の小学校と連携した農業体験により、子どもたちの農業への理解、関心が深まっています。

#### 概要

- 位置図



- 活動面積  
30.7ha
- 活用事業  
多面的機能支払交付金



水路の草刈り



水路の泥上げ



米作り体験（田植え）



米作り体験（稲刈り）

### 美野原広域協定（中之条町）

#### 取組・効果のポイント

- 地元の高校と連携した後進育成
- 高齢化により困難になりつつある保全管理の負担軽減

- 吾妻中央高校へ共同活動への参加を呼びかけたところ、生徒の課題研究として、水路の点検・簡易補修や水路図作製などの取組が行われています。
- この取組を通して、高校生へ農地や農業用水の大切さを伝える機会になるとともに、高齢化により困難となりつつある農業用施設の保全管理における負担軽減にもつながっています。

#### 概要

- 位置図



- 活動面積  
243.8ha
- 活用事業  
多面的機能支払交付金



高校生による点検・機能診断



高校生による水路目地補修



水路測量成果

# 群馬県農業農村整備計画 2026 (ぐんま水土里保全整備プラン) 策定経過

## ◆令和7年度

年月日	名称	内容
令和7年 6月 4日	進行管理委員会幹事会 (第1回)	次期プラン骨子案検討
令和7年 7月 2日	進行管理委員会幹事会 (第2回)	次期プラン施策展開、基本施策等の検討
令和7年 7月 30日	進行管理委員会幹事会 (第3回)	次期プラン施策体系、記載内容等の検討
令和7年 8月 8日	進行管理委員会 (第1回)	次期プラン策定に向けた検討状況報告
令和7年 9月 11日	進行管理委員会幹事会 (第4回)	次期プラン施策体系、全体構成等の検討
令和7年 10月 9日	進行管理委員会幹事会 (第5回)	※開催中止
令和7年 11月 17日	進行管理委員会幹事会 (第6回)	次期プラン素案検討
令和7年 12月 4日	進行管理委員会幹事会 (第7回)	次期プラン原々案検討
令和7年 12月 22日	進行管理委員会幹事会 (第8回)	次期プラン原案検討
令和8年 1月 13日	進行管理委員会 (第2回)	次期プラン原案検討
令和8年 1月 15日 ～令和8年 2月 13日	県民意見提出制度(パブリックコメント)の実施	
令和8年 2月 3日	進行管理委員会幹事会 (第9回)	次期プラン案検討
令和8年 2月 24日	進行管理委員会幹事会 (第10回)	次期プラン案検討
令和8年 3月 4日	進行管理委員会 (第3回)	次期プラン案検討

※進行管理委員会 : 「群馬県農業農村整備計画2020進行管理委員会」の略  
 進行管理委員会幹事会 : 「群馬県農業農村整備計画2020進行管理委員会幹事会」の略

## 表紙のデザイン



### コンセプト

群馬県全体を象徴的に配置し、中部、西部、吾妻、利根沼田、東部の5つの地域に分け、それぞれに関連する写真を配置しました。

県全体をモチーフとすることで、地域ごとの多様性と群馬県としての一体感の両立を表現しました。背景にあしらった右上と左下から流れるラインには、「未来へ想いをつなげていく」という意味を込めています。

また、「農業農村整備」の基調色として、「農業」を土を連想させる「オレンジ」、「農村」を自然と暮らしの調和を感じさせる「黄緑」、そして、農業・農村の発展に欠かせない「農業用水」の清らかな水を連想させる「青」の色を「整備」に使用しています。

# 群馬県農業農村整備計画 2026

ぐんま水土里保全整備プラン

## 群馬県農政部農村整備課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番地1号

TEL : 027-226-3146

FAX : 027-224-8744

Email : nousonka@pref.gunma.lg.jp

URL : <https://www.pref.gunma.jp>

農村整備課HP



令和8年3月発行